

2026年1月16日

各 位

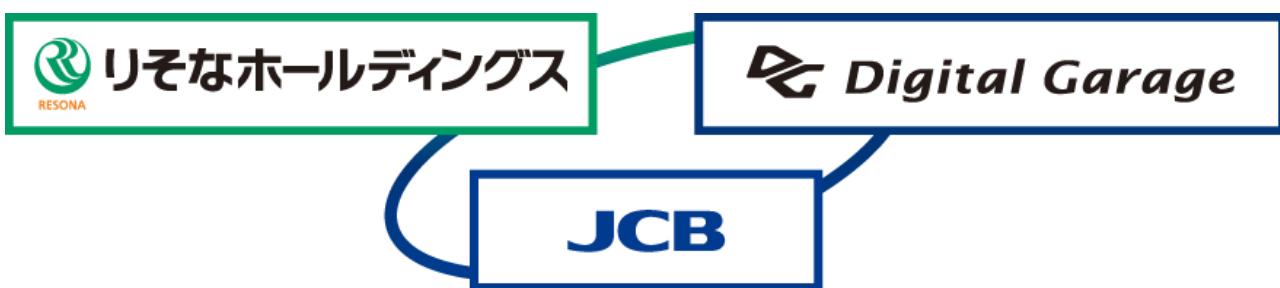
株式会社 りそなホールディングス

## デジタルガレージおよびジェーシービーとのステーブルコイン決済の社会実装に向けた協業について

株式会社りそなホールディングス(取締役兼代表執行役社長兼グループCEO 南 昌宏)は、株式会社デジタルガレージ(代表取締役兼社長執行役員グループCEO 林 郁、以下「DG」)、株式会社ジェーシービー(代表取締役会長兼執行役員社長 二重 孝好、以下「JCB」)とともに、ステーブルコイン<sup>※1</sup> 決済の社会実装に向けた協業について、本日基本合意しました。

3社は、それぞれの事業基盤と強みを活かしてステーブルコインを活用した決済モデルの構築や、利用者・加盟店の双方が安全かつ円滑に利用できる決済基盤のあり方を検討するとともに、交換・精算・収納など、社会実装に必要となる取引プロセスを共同で整理していきます。これらの取り組みを通じて、次世代の金融エコシステムの実現を目指します。

※1 ステーブルコイン:法定通貨等の価値と連動するよう設計され、裏付け資産や仕組みによって安定性を確保したデジタル通貨



### 背景・目的

ステーブルコインは、法定通貨に価値を連動させることで価格が安定し、ブロックチェーン<sup>※2</sup>による「迅速・低コスト・24時間対応」の決済を実現できることから、世界的に利用が広がっています。特に国際送金や企業間の資金移動では、従来の銀行送金に比べて大幅な効率化が期待されています。一方で、発行体の透明性や利用者保護、セキュリティなど、安心して利用するための制度・技術基盤の整備が課題となっています。3社の協業を通じて、これらの課題を解決し、国境や時間にとらわれないスマートで安全な価値移転を可能とし、企業活動や日常の決済がより便利で自由になる次世代の金融環境の実現を目指します。

※2 ブロックチェーン:複数の参加者が同じデータを分散して共有し、改ざんを防ぐことで取引や情報管理の信頼性を高めるデジタル基盤

#### 次世代の安心かつ効率的な決済インフラを通じて、お客さまの利便性向上を目指します

当社は、3社の協業において、国内有数の顧客基盤と中小企業を幅広く支える金融グループとしての強みを活かし、ステーブルコインの即時性・低コスト性を活用した新たな金融サービスの構築に貢献します。銀行送金における時間やコストの課題を解消するとともに、ステーブルコインの「プログラマブル<sup>※3</sup>」という特性を踏まえた店舗決済や企業間決済への展開を検討し、新たな決済モデルの創出を目指します。

※3 プログラマブル:支払いの実行条件や処理ルールを事前に組み込むことで、取引や決済を自動化できる仕組み

#### 実店舗でのステーブルコイン決済に関する実証実験の実施に向けた取り組みを進めます

実店舗で米ドル建て・日本円建てステーブルコインを用いた共同実証実験の実施に向けて取り組んでいます。実店舗での決済体験やブロックチェーン処理の性能・安定性、円貨への換算を含む加盟店精算プロセスなどを検証し、社会実装に向けた技術・運用基盤の確立を目指して検討を進めます。本実証で得た知見を踏まえ、各社はステーブルコイン決済の社会実装に向けた検討を進めるとともに、エコシステム拡大に向けて他事業者との連携も積極的に検討していきます。

## 【各社の役割と展望】

会社	主な役割と展望
当社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お客様基盤を活かし、ステーブルコインを用いた低コスト・即時性の高い金融サービスを開発</li> <li>○プログラマブル決済の活用による店舗決済・企業間決済への展開を検討</li> <li>○銀行の信頼性とデジタル技術の革新性の融合により付加価値の高いサービスを提供し、新たな決済モデルを創出へ</li> </ul>
D G	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内最大級の決済基盤やブロックチェーン領域における技術等のグループで保有する知見を活用し、ステーブルコイン決済インフラを構築</li> <li>○自社の決済基盤にステーブルコイン決済を統合し、幅広い商取引で利用可能に</li> <li>○電子決済手段等取引業等のライセンス取得を予定し、ステーブルコインと法定通貨の交換・精算機能の提供を通じて、加盟店の商習慣等への影響を抑えつつ、次世代の決済インフラを社会へ浸透させる</li> <li>○グローバル決済プラットフォーム等との連携も視野に、本格的な事業展開へ</li> </ul>
J C B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内加盟店がステーブルコインを受け入れられる環境を整備すべく、最適な UI/UX や精算プロセス等を検討</li> <li>○B2B 領域等でステーブルコインの特性を活かした新サービスの開発、エコシステム構築に向けた検討</li> </ul>

## 各社コメント

### 株式会社りそなホールディングス 取締役 兼 代表執行役社長 兼 グループCEO 南 昌宏

りそなグループは、「金融+で、未来をプラスに。」というパーカスのもと、デジタル技術を活用した新たな価値創造に積極的に取り組んでいます。今回のステーブルコイン決済における3社協業の開始は、国内外のお客さまに、より便利で安全な決済環境を提供するための重要な一步です。伝統的な金融機関として培ってきた信頼性と、革新的なテクノロジーを融合させることで、日本市場に適した新しい決済モデルを創出し、これまで以上にお客さま・地域社会に貢献していきます。

### 株式会社デジタルガレージ 代表取締役 兼 社長執行役員グループCEO 林 郁

デジタルガレージは、「New Context」を創造し続けるとともに、グループ戦略「DG FinTech Shift」のもと、様々な戦略パートナーと連携し、日本の決済インフラの進化に取り組んできました。このたびのステーブルコインを活用した新たな決済サービスへの挑戦は、web3<sup>※4</sup>を実需や実業に結びつける「New Context」そのものです。当社グループが保有するブロックチェーン技術と、JCB様の強固な加盟店決済網、りそなホールディングス様が保有する広大な顧客基盤の融合により、キャッシュレス社会の新たな決済基盤の構築に向けて取り組んでいきます。

※4 web3:ブロックチェーン技術を基盤に、デジタル上のデータや価値を個人や企業が直接扱えるようにする次世代インターネットの概念

### 株式会社ジェーシービー 代表取締役会長 兼 執行役員社長 二重 孝好

JCBグループは、総合決済サービス企業として、お客様のニーズに応える商品・サービスの開発や、より安心・安全な決済環境の開発・提供に取り組んでおります。現在グローバルで市場が急速に拡大しているステーブルコインは、お客様に新たな価値をご提供できる基盤ですが、その社会実装には、安全・安心の実現と持続的なビジネスモデル構築が必要です。この課題解決に向けて、デジタルガレージ様、りそなホールディングス様をはじめとした参画各社様とともに取り組んでまいります。

以上